

SORA

ANNUAL REPORT 2020 - 2021



= About SORA 私たちについて =



team SORA

私たちは、**これからの将来を担う主体的な人材の育成**を目的とした新しいキャリア教育プログラムを提案する

私たち SORA はこれからの未来、働くことについての在り方を考え、日々探究活動を行っている。“実践的なキャリア教育”の普及を通して、豊かな日本経済の発展へと繋げることを使命として掲げている。



= Current Situation 現状分析 =

グローバル化、ICT化、少子高齢化、働き方改革などにより、企業を取り巻く環境は著しく変化している。それにより企業は、これまでの経営スタイルだけでは、他社との競争に打ち勝つことが困難になった。そのため、この変化の激しい現代を生き抜いていくには、既存の製品に新たな価値を付け加えたり、モノではなく『体験や経験』を提供するなど、これまでとは全く異なる企業価値を生み出していかなければならない。

一方で、企業を支えているのは紛れもなく、実際に働いている人たちである。ゆえに、人材育成をすることは会社を育てることに繋がり、人材育成によって社員が最大限の能力を発揮できるようになれば、企業は生産性の向上や利益の拡大などの更なる成長を見込んでいくことができる。よって学生のうちから、キャリア教育について学び、社会接点を増やしていくことは、企業にとっての重要な即戦力となる人材の育成につながり、社会経済に大きな利益を与えていく第一歩となる。そして、キャリア教育の普及は新学習指導要領においても注目されている課題である。

= Activity Contents 活動内容 =



外務省後援 ASEAN 留学生
国際文化交流事業



SORA によるオンライン授業風景



元厚生労働省職員 原島敦様との対談

私たちは CBP(Chihaya Business Project)と
いった千早高校独自のサークル活動を通して、企業訪問や社会貢献ボランティアなどの様々な活動を行ってきた。そこでは、将来の不安や自己理解の甘さを身に染みながらも、社会に出て『働く』といった自己形成のために必要な経験を積むことが出来た。その学びをより具現化していくために、様々な経歴を持つ方々に『キャリア』とは何かインタビューを行い、キャリア教育について
元厚生労働省職員 原島敦様 / 外務省職員・ASEAN の留学生の皆様 / 日本青年会議所 松崎絵里子様
ベンチャー塾講師 中島郁也様 / 株式会社キャリアリンク専務取締役 垣内亜佐子様
株式会社 H.R.I 代表取締役社長 溝橋正輝様 (2021 ベストベンチャー100 ランクイン) and more...

株式会社 Gaiax 主催スタートアップセミナーに参加。
そして、株式会社キャリアリンク・株式会社 H.R.I の協力のもと、高校生と企業が連携した新たな教育プログラム SELF とビジネスモデル Together We Create の共同開発。
株式会社インビジョンとのインフルエンサーによるキャリアデザインのためのオンラインイベント開催。

東京都教育委員会 小塩明伸様 / 元文部科学省職員 親泊寛昌様

元厚生労働省職員 原島敦様 / 外務省職員・ASEAN の留学生の皆様 / 日本青年会議所 松崎絵里子様
ベンチャー塾講師 中島郁也様 / 株式会社キャリアリンク専務取締役 垣内亜佐子様
株式会社 H.R.I 代表取締役社長 溝橋正輝様 (2021 ベストベンチャー100 ランクイン) and more...

Our Problem 問題

『日本の教育が育成する人材』と『社会が求めている人材』にあるギャップ

普通科教育の学習は、上級学校進学のために重きを置いたカリキュラムで編成されているため、社会に出た時に必要とされる能力向上を目的とした授業が存在しない。その結果、いざ就職をする際に、社会接続がうまくいかず就職難に陥ったり、雇用のミスマッチが発生し、若者の離職率が高くなっている。

“人口減少による働き手不足”

少子高齢化に伴い、働く世代の人口は減少を続けている。出生数の減少は働く世代の減少を意味しているため、働き手不足の現代において、企業が優秀な人材を確保することはますます困難になっていく。



→そこで私たちは、**これからの将来を担う主体的な人材の育成**を目的とした新しいキャリア教育プログラムを提案する

Solution 解決策

Phase1

社会経験 将来のための学びの場を提供

SELF とは企業と連携して高校生を対象に社会、将来、ビジネスについての考える場を提供するプロジェクトである。代表的な企画としてキャリアデザインについてのオンライン授業、スーパー営業マン育成プロジェクト、会社員 1 日密着プロジェクトなどがある。

Phase2

企業と高校生が共に行うビジネスモデル

多くの企業とつながりのあるキャリアリンクからSORA がヒアリング対象の募集依頼を受け、企業が求めるヒアリング対象と高校生のプロフィールがマッチする人を、企業に情報提供する。学生には継続的な社会接続の場を提供する。

Social Impact 社会的影響

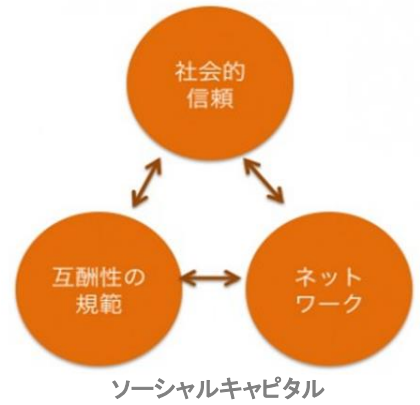
私たちが提案するプロジェクトは、社会貢献のみ留まらず、ビジネスとして成立させながら行うことができるキャリア教育プログラムである。ビジネスとして成り立つことができれば、企業も積極的にキャリア教育を普及していくことが可能になり、より多くの学生がキャリアについて学べる機会を作ることができる。

また、学生の頃から様々な社会接続が出来るといった環境を整えれば、個々の社会事象に対する関心や働くことへの意識が高まり、社会人基礎力能力の向上につながるため、主体的な学生を増やしていくことができる。そういった若者達が活躍し、社会に貢献していくことで、企業そして社会全体にとって大きな利益をもたらす。

= Sustainability 持続可能性 = = = = =

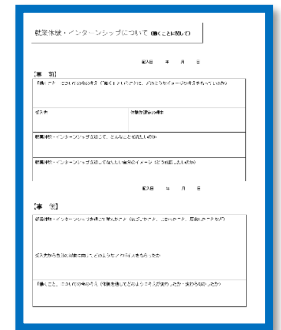
○ソーシャルキャピタルを豊かにしていく

企業と学生の協調行動を活発化することで、社会信頼関係(ソーシャルキャピタル)を築いていくことができる。つまり、学生が何か企画したとしても、学生の力だけではできることが限られてくるが、学生が企業とソーシャルキャピタルを築き上げることによって、学生が主体的に行動できる環境を整えていくことができる。



○キャリアパスポート作成・実績証明発行

キャリアパスポートとはプロジェクト毎に得られた実績を記録してまとめていくレポートである。記録を残して振り返りを行うことにより、自己理解や成長に繋がり、キャリア教育によって得られた実績をより濃い経験にすることができる。また、実用英語検定などのように実績証明書を発行することで、進学や就活の際に強みにすることで独自価値が見いだせると同時に、インセンティブとなり持続可能な形になると考えた。



キャリアパスポート
文部科学省より引用

○実践的なキャリア教育のモデルをマニュアル化する

私たちが行ってきたプロジェクトは今後、日本郵政グループと株式会社キャリアリンクの協力のもと、授業を共同開発して、全国の学生に向けて展開していく。キャリア教育とは、決して目に見えるものではないが、後世に教育という形で繋がり続け社会全体に大きな価値を生み出していく重要なきっかけとなる。マニュアルを作成して、持続化につなげていく。



= SDGs 持続可能な開発目標 = = = = =



“SORA”は大きく4つのSDGsゴールに直接的に関わっている。
このプロジェクトは2030年までのSDGsの達成に貢献している。



社会貢献や自己理解などの実践的な探究活動を行うことにより、主体的な人材育成を目的とした教育を行うことができる。



学生のうちから、社会で働くことを意識した活動を行うことで、多様な社会知識が身に付く。企業にとっても、人材育成のマニュアルができ、産業の発展・技術革新へとつながる。



企業と学生が連携することで、互いに影響・成長し合うことができるため、社員の働きがいや学生の能力向上につながり、経済が成長していく。



企業との連携・学生への呼びかけにより、人と人のつながりやソーシャルキャピタルが生まれるため、社会規模で協力して課題解決に取り組んでいくことができる。